

日本顕微鏡学会走査型プローブ顕微鏡分科会 平成 24 年度オープン研究会
「超高真空走査型プローブ顕微鏡法の最近の展開」

マテリアルイノベーションのキーテクノロジーとして、ナノスケールの空間分解能で構造と機能を多元的に同時計測できる走査型プローブ顕微鏡 (SPM) が注目されている。今回は超高真空 SPM における高度計測技術の開発動向ならびに応用展開について、最新の研究成果をエキスパートの方々にご紹介していただく。

[開催日時] 平成 25 年 1 月 23 日 (水) 11 時~19 時 30 分 (含む懇親会)

[開催場所] 大阪大学大学院工学研究科 (吹田キャンパス) 理工学図書館 図書館ホール (3F)
http://www.library.osaka-u.ac.jp/lib_sel/access/

[参加費] 無料 (懇親会参加費: 3,000 円、参加費のお支払いは会場受付で承ります。)

[申込方法] 氏名、所属、住所、電話番号、Fax 番号、e-mail アドレス、申込資格 (顕微鏡学会の会員・非会員)、懇親会参加の有無をご記入の上、e-mail もしくは FAX にてお申し込み下さい。

[申込先] 大阪大学大学院工学研究科応用物理学教室 菅原研究室・安富紀子
Email: yasutomi@ap.eng.osaka-u.ac.jp FAX: 06-6879-7856

(1) ラボツアー 11:00-12:00 大阪大学大学院工学研究科の SPM 関連研究室のラボツアー
(菅原教授・李准教授グループ&杉本准教授グループ)

(2) 研究会 13:00-17:40 (懇親会 18:00-19:30)

研究会プログラム

13:00-13:10	はじめに	大阪大学	菅原康弘
13:10-13:40	金属酸化物表面の表面電位測定	北陸先端大	笹原 亮
13:40-14:10	AFM による Al ₂ O ₃ 薄膜表面での配位数の異なる Al 原子の識別	大阪大学	李 艶君
14:10-14:40	Si (111)7×7 表面における力とトンネル電流の関係 (仮題)	金沢大学	新井豊子、 岡林則夫
14:40-15:10	AFM/STM 同時測定によるフォース/トンネル分光	大阪大学	杉本宜昭
15:10-15:30	休憩		
15:30-16:10	CeO ₂ 表面の酸素欠陥に応じた担持 Au クラスタの電荷状態とその触媒活性	大阪大学	福井賢一
16:10-16:40	Kelvin Probe Force Microscopy の理論	東北大学	塚田 捷
16:40-17:10	STM による水素結合の観察と操作	京都大学	奥山 弘
17:10-17:40	16T 高磁場極低温 STM の開発と材料研究への応用	物材機構	鷺坂恵介 藤田大介
18:00-19:30	懇親会 (银杏会館 2 F ミネルバ)		